令和８年度前期　檜山支部活動報告

１　はじめに

本年度の会員は１９名、事務局運営をしています。

会　　長～佐藤	智也（奥尻中）	副　会　長～能代	淳司（青苗小）
南部副事務局長～成田	紗知子（奥尻中）	北部副事務局長～細川	龍哉（北檜山中）
事　務　局　長～鈴木	優斗（江差中）		

２　研究内容

≪研究主題≫　『わかってできる、楽しい体育の授業展開を目指して』

≪目指す児童・生徒像≫　『生涯に渡り、運動を通して心身ともに健康な子』

研究の視点

①運動の特性を理解し、意欲的に取り組む子…生徒が意欲的に運動を楽しむ姿を引き出す工夫。
　「する」、「見る」、「支える」、「知る」の視点を意識した授業づくり

②仲間と共に学習し、協力し合える子…学習形態や話し合い方法の工夫。ICT の有効的な活用方法。
　協働的・課題解決的な場面を多く設定した授業展開の構築

③粘り強く頑張れる子…「できた、わかった、楽しかった」に繋げる工夫。
　個に応じた課題の設定、「何を学び」、「何ができた」かが見える授業と評価の確立。

３　今年度の取組

運動量や活動時間を確保しつつ ICT 機器を単元や生徒の実態に合わせて活用し、活用方法の交流と検証を続けている。また、研究大会などで行った指導案の保存と共有を行い、若手へのサポートの充実化を行っている。

４　今年度の研修及び研究大会について

７月に奥尻中学校　成田　紗知子 教諭に授業を行っていただき、研究大会を実施しました。

→研究大会では、各校１年間の成果や課題を交流することで管内としての課題や問題点を把握する機会とした。

→生徒数減少にともなって他学年合同授業を行う学校が増えつつあり、目標や評価基準の設定、指導内容をどのようにするかなどが今年度の研究大会での大きな話題となった。

→研究授業では、少人数で取り組むことができる「baseball５」を行いました。他学年との合同だけでなく、単元の中には近隣高校との連携をとり、高校とも合同で取り組む計画としていた。





